

施工店様へのお願い・・・●施工前に必ずこの説明書をお読みください。

施工上のご注意

- 1000BASE-T伝送の配線は電力配線と15 cm以上の離間距離を設けてください。伝送不良が発生する原因になります。

結線方法

**1 ケーブルの外皮をもち、撚りをもどす**

適用電線：AWG24(φ0.5) Cu(銅)単線専用  
4対非シールドツイストペアケーブル(CAT5E)  
(CAT5E対応UTPケーブル)

① 60 mm

注) 電線を傷つけないように外皮をむいてください。

**2 撚りをもどす**

① 10 mm

② 15 mm以上(撚りをもどす範囲)

1.電線の根元より10 mmの所をもつ。  
2.もう一方の手で電線の先端側をもち、2~3回回転させて撚りをもどす。  
3.そのまま、撚りをもどした範囲の電線をまっすぐにする。

注1) 電線がねじれたり、曲がっていると成端できず、導通不良の原因になります。  
注2) 外皮の中まで撚りをもどすと伝送不良の原因になりますので、撚りをもどす際は撚りを加えてください。  
注3) 撚りをもどす範囲は、上図に示すように15 mm以上にしてください。なお、上図では先端の撚りを残していますが、先端まで撚りをもどしても支障ありません。

**3 レバーを押し上げる**

注) レバーは片側ずつはずしてください。

① レバーを押し上げる(指またはドライバーで押し上げてください)

② レバーを引き抜く

レバー

レバーのラベルの色配列(結線図)に従って電線を通してください。

**4 電線を挿入する**

確実に押し込む

すきまは5 mm以内にしてください。

注) 電線が溝に納まっていないと成端できません。

**5 電線をレバーに板固定する**

① 電線を強く引く

② 電線を引きながら曲げる

注1) 色配列をくずさないでください。  
注2) 各溝に一本ずつ納まっていることを確認してください。

**6 他方のレバーも③-⑤にしたがって電線を通し、固定する**

電線がまっすぐであることを確認してください。

**7 レバーを閉じる**

注) レバーの左右を間違えないようにはめこんでください。

2つそろえてはめこむ

**8 レバーを押し込む**

一方のレバーを押し込む

他方のレバーを押し込む

注1) 「カチツ」と音がするまで押し込んでください。  
注2) 2つ同時に押し込まないでください。大きな力が必要となり、成端できず、導通不良になる恐れがあります。

**9 はみ出した電線をカットする**

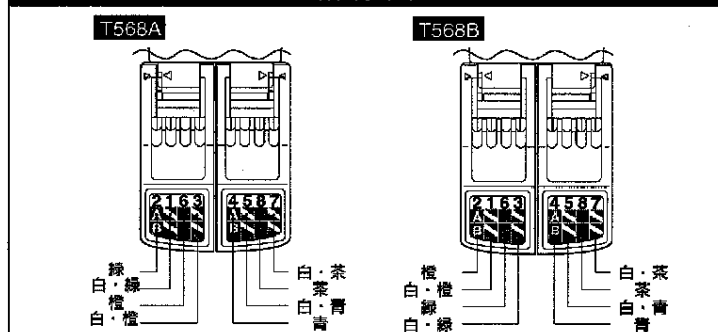
① 電線の切りクズが内部に入らないよう注意してください。導通不良になる恐れがあります。

注1) できるだけ根元までカットしてください。  
注2) カット後、電線は溝に押し込んでください。

**10 保護カバーを取り付ける**

爪を穴にはめ込んでください。

結線図



ご注意

1. 8極8心以外のモジュラプラグを差し込まないでください。モジュラジャックのコンタクトばねを变形させる恐れがあります。
2. 再結線は5回以内にしてください。(ケーブルはレバーを指またはドライバーで押し上げてはずしてください)
3. ボックスに収納される際は、右図の様に電線を下に曲げてから収納してください。レバーに水が貯まり短絡する恐れがあります。

プレート

本体

電線

ボックス